

一般病院3

機能種別版評価項目 3rdG:Ver.3.0について (2023年4月～)

※ 詳細は今後変更する場合がございます。

公益財団法人 日本医療機能評価機構
評価事業推進部

2022年5月17日版

目次

1. 第3世代（3rdG）の特徴
2. 3rdG:Ver.3.0への改定の概要
 - (1) Ver3.0の評価項目数
 - (2) 新しく導入した評価方法
 - (3) Ver3.0の評価料
 - (4) Ver3.0の支援サポートメニュー

目次

1. 第3世代（3rdG）の特徴

2. 3rdG:Ver.3.0への改定の概要

- (1) Ver3.0の評価項目数
- (2) 新しく導入した評価方法
- (3) Ver3.0の評価料
- (4) Ver3.0の支援サポートメニュー

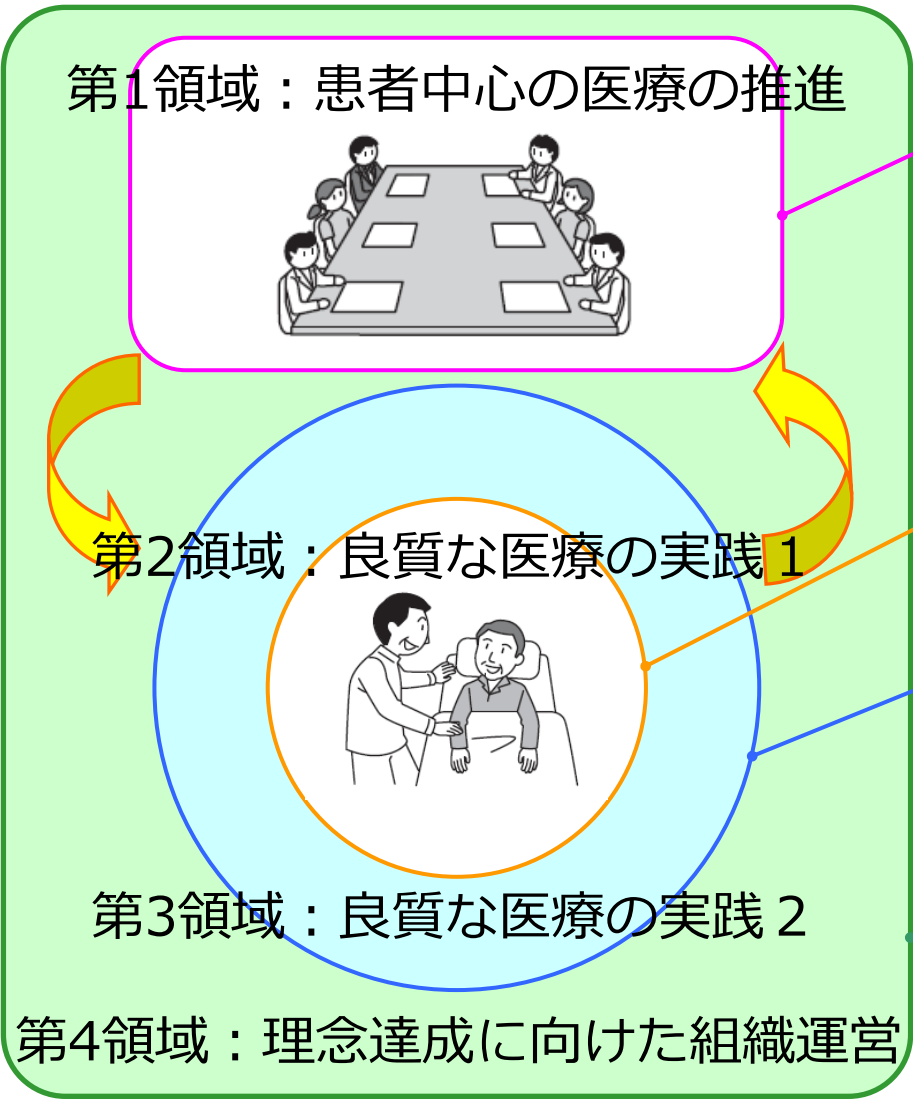
第3世代の特徴

(1) 病院の特性に応じた評価	(2) 評価内容の重点化
病院の役割・機能に応じた評価項目で審査を行う。 ■ 一般病院 1 ■ 一般病院 2 ■ 一般病院 3 ■ リハビリテーション病院 ■ 慢性期病院 ■ 精神科病院 ■ 緩和ケア病院	■ 中項目を89～93項目に集約。 ※ 第2世代 (Ver.6.0) は、中項目137項目／小項目352項目 ■ 「ガバナンス」「理念・基本方針」「質改善活動の取り組み実績」をポイントに評価する。
(3) プロセス重視の評価	(4) 継続的な質改善の支援
■ 双方向性を強化したプロセス重視の評価を行う。 ■ 診療・ケアの実践状況は、症例の経過に沿った確認を行う。 (症例トレース型ケアプロセス調査) ■ 定常状態を評価。 例：訪問病棟および確認症例の指定	■ 認定期間中に活動状況の確認を行う。 ■ 更新審査では、初回審査および認定期間中の確認内容を踏まえた評価を行う。 ■ 認定取得後3年目に改善審査を導入。

病院の特性に応じた機能種別を設ける

機能種別名	種別の説明
一般病院 1	主として、日常生活圏域等の <u>比較的狭い地域</u> において地域医療を支える <u>中小規模病院</u>
一般病院 2	主として、二次医療圏等の <u>比較的広い地域</u> において <u>急性期医療を中心に</u> 地域医療を支える <u>基幹的病院</u>
一般病院 3	主として、高度な医療の提供、高度の医療技術の開発・評価、高度の医療に関する研修を実施する病院または準ずる病院
リハビリテーション病院	主として、 <u>リハビリテーション医療</u> を担う病院
慢性期病院	主として、療養病床等により <u>慢性期医療</u> を担う病院
精神科病院	主として、 <u>精神科医療</u> を担う病院
緩和ケア病院	主として、 <u>緩和ケア病棟</u> もしくは <u>ホスピス</u> を保有している病院

評価項目領域の構成



第1領域

- 病院組織の基本的な姿勢
- 患者の安全確保等に向けた病院組織の検討内容、意思決定

第2領域

病院組織として決定された事項の診療・ケアにおける確実に安全な実践

第3領域

確実に安全な診療・ケアを実践するうえで求められる機能の各部門における発揮

第4領域

良質な医療を実践するうえで基盤となる病院組織の運営・管理状況

評価項目の構成

1 患者中心の医療の推進

大項目 (x.x)
対象領域における枠組みをあらわす項目

1.1 患者の意思を尊重した医療

中項目 (x.x.x)
直接、評価の対象となる項目

1.1.1 患者の権利を明確にし、権利の擁護に努めている

【評価の視点】

○ 患者の権利が明確にされており、実践の場面で擁護されていることを評価する。

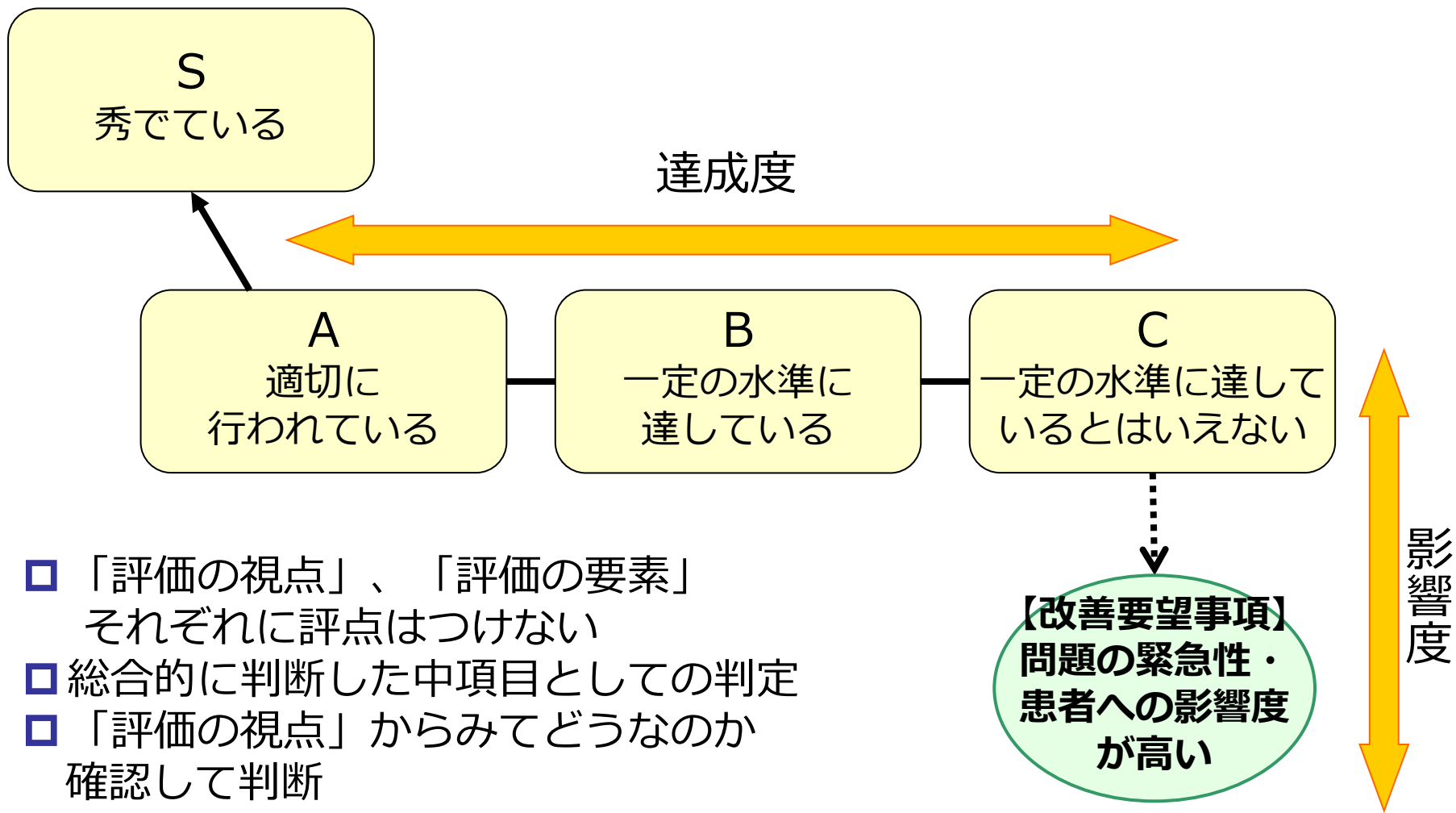
【評価の要素】

- 患者の権利の明文化
- 患者の権利の内容
- 患者・家族、職員への周知
- 権利擁護の状況
- 患者の請求に基づく、診療記録の開示状況

評価の視点 ○
中項目を評価するための視点

評価の要素 ●
中項目を評価する際に参考とする要素

評価の定義



- ❑ 「評価の視点」、「評価の要素」
それぞれに評点はつけない
- ❑ 総合的に判断した中項目としての判定
- ❑ 「評価の視点」からみてどうなのか
確認して判断

目次

1. 第3世代（3rdG）の特徴

2. 3rdG:Ver.3.0への改定の概要

- (1) Ver3.0の評価項目数
- (2) 新しく導入した評価方法
- (3) Ver2.0から変更した評価方法
- (4) Ver3.0の評価料
- (5) Ver3.0の支援サポートメニュー

3rdG:Ver.3.0への改定の概要

事務管理領域の 評価方法の見直し	一般病院 3 特有の 評価方法の他種別 への展開	法改正・医療情勢 の変化への対応
第1領域、第4領域の各 中項目を重点的に見直 すとともに、 「組織」 「人材」 「経営」 「地域・患者支援」 などでブロックとして 取りまとめて評価する 方法を導入する。	・ 病院幹部面談 ・ カルテレビュー ・ 医療安全ラウンド 等を他の種別にも順次 展開する。	臨床研究法、医療法の 法制度等の改正や、 感染症対策への期待の 高まりなどの医療情勢 の変化を踏まえ、評価 項目を見直す。

サーベイヤーの訪問人数・構成

主たる機能種別		区分 1	区分 2	区分 3	区分 4
一般病院 1 緩和ケア病院	許可病床数	20～99床	100床以上		
	訪問人数	3名			
一般病院 2	許可病床数	20～99床	100～199床	200～399床	400床～
	訪問人数	3名		6名 	6名 
リハビリテーション病院 慢性期病院 精神科病院	許可病床数	20～199床	200床～		
	訪問人数	3名			
一般病院 3	訪問人数	9名 			
複数の機能種別を 受審する場合	同時受審	1機能種別につき1名追加（診療または看護）			
	後日受審	1機能種別につき2名、審査日数は1日			


診療


看護


事務


薬剤


医療安全


リーダー

訪問審査当日のスケジュール（暫定版）

	1 日目	2 日目	3 日目
午前	- 事前打ち合わせ・確認病棟の通知 - 書類確認 - 挨拶 - 病院概要説明 - 組織運営に関する説明 - 面接調査①	- 病棟概要確認(2病棟) ※機構指定 - ケアプロセス調査(3病棟) ※機構指定 - カルテレビュー - 医療安全ラウンド(2～3病棟他) - 薬剤テーマ別調査 - 地域・患者支援ブロック - 経営ブロック - 部署訪問	- 病院幹部面談 - 再確認 - サーベイヤ合議 - 講評・意見交換
午後	- 病棟概要確認 - ケアプロセス調査(2病棟)※病院選択 - 部署訪問 - 組織ブロック - 人材ブロック - 再確認	- 部署訪問 - 事務面接調査 - 面接調査② - 面接調査③(医師・歯科医師) - 面接調査④(看護師の教育・研修) - 再確認	

※2022年3月25日時点の内容となります。今後、変更する可能性がありますので、予めご了承ください。

※朱書・下線部は一般病院3で追加された評価方法／朱書・太字は3rdG:Ver.3.0で追加された評価手法

目次

1. 第3世代（3rdG）の特徴

2. 3rdG:Ver.3.0への改定の概要

(1) Ver3.0の評価項目数

(2) 新しく導入した評価方法

(3) Ver2.0から変更した評価方法

(4) Ver3.0の評価料

(5) Ver3.0の支援サポートメニュー

機能種別ごとの中項目(評価対象)数

機能種別	Ver.1.1	Ver.2.0	Ver.3.0
一般病院1	89項目	90項目	89項目
一般病院2	89項目	89項目	88項目
一般病院3		89項目	88項目
リハビリテーション病院	90項目	91項目	90項目
慢性期病院	90項目	90項目	89項目
精神科病院	93項目	93項目	92項目
緩和ケア病院	90項目	90項目	89項目

※いずれも1.6.1と1.6.2が統合されたため。
※2022年3月29日時点の内容となります。
※詳細な項目変更箇所は2022年4月1日以降にホームページ上に公開予定です。

目次

1. 第3世代（3rdG）の特徴

2. 3rdG:Ver.3.0への改定の概要

(1) Ver3.0の評価項目数

(2) 新しく導入した評価方法

(3) Ver3.0の評価料

(4) Ver3.0の支援サポートメニュー

新しい評価方法の導入

審査体制区分※1	(1) カルテレビュー	(2) テーマ別調査 (事務ブロック)	(3) 医療安全・感染 対策ラウンド	(4) 面接調査 (医師歯科医師、看護 師の教育・研修)	(5) 幹部面談	(6) テーマ別調査 (薬剤)
区分 1	○					
区分 2	○					
区分 3	○	○※2	○※3	○		
区分 4	○	○	○※3	○	○	
一般病院 3	済	済※4	済	済	済	○

※1 審査体制区分は「P11」を参照してください。
※2 一部導入予定です。
※3 「一般病院3」に導入済みの医療安全ラウンドと方法・内容は異なります。
※4 一部導入済みです。

(1) カルテレビュー

前回と変更はございません

カルテレビュー

内容

- カルテ記載を通して以下を確認します。
 - 病院のカルテ記載の定常状態
 - 病棟における診療・ケアが適切に行われているか
 - 説明と同意が適切に行われているか

同席者

- 診療記録の点検を担当されている方、説明に関する責任者、電子カルテ上の診療記録の保管場所がわかる方（病院全体の教育担当の看護師等）、電子カルテの操作に習熟した方（診療情報管理士等 2 名）

お願い

- 次スライド以降の
 - 「カルテレビュー確認症例の指定について」
 - 「カルテレビューでご準備いただきたい書類」
 - 「カルテレビューの進め方」をお読みいただき、ご対応をお願いいたします。

カルテレレビュー確認症例の指定について

- ◆ 病院が準備した「訪問審査前月 1 ～ 7 日の全診療科の退院患者リスト」から、審査1日目の書類確認時にサーベイヤーが以下の「症例指定のポイント」を参考に20症例を指定し、病院に通知します。

<訪問審査前月 1 ～ 7 日の全診療科の退院患者リスト※に掲載される情報>

- 1.診療科、2.疾病名、3.手術名、4.在院日数、5.患者年齢、
- 6.患者性別、7.死亡退院か否か

※診療科、疾病名で並び替えてください

<症例指定のポイント>

○複数の診療科から以下の症例を指定します。

- ・ リスクの高い手術を行った症例
- ・ 高齢者、未成年者の症例
- ・ 疾病名から判断して通常より在院日数が長い症例
- ・ 院内で対診した症例（リストで確認できる場合） 等

カルテレレビューでご準備いただきたい書類

- ・ 訪問審査前月 1 ～ 7 日の全診療科の退院患者リスト
(審査 1 日目の書類確認時にサーベイヤーから返却されたリストをご用意ください)
- ・ 診療情報管理に関する委員会の議事録
- ・ 診療記録の点検体制がわかる資料
- ・ 診療記録の質的、量的点検のチェックリスト
- ・ 説明と同意に関する院内の方針、基準・手順

カルテレレビューの進め方

- ◆審査 1 日目にサーベイヤーが指定した症例の診療記録を「カルテレレビューで確認する診療記録」（次スライド）に沿って順次確認します。

電子カルテの操作に習熟した方（診療情報管理士等 2 名）にパソコンを操作いただきます。

- ◆診療サーベイヤー、看護サーベイヤーが各々カルテレレビューを実施します。

- ◆各サーベイヤーの確認対象は、「カルテレレビューで確認する診療記録」に記載された全ての診療記録です。

例：診療サーベイヤーは、診療記録以外も確認します。

【お願い】

- ◆実施会場は「会場レイアウトイメージ」を参考にご用意ください。
- ◆準備書類は会場内にご用意ください。（サーベイヤーが適宜確認します）

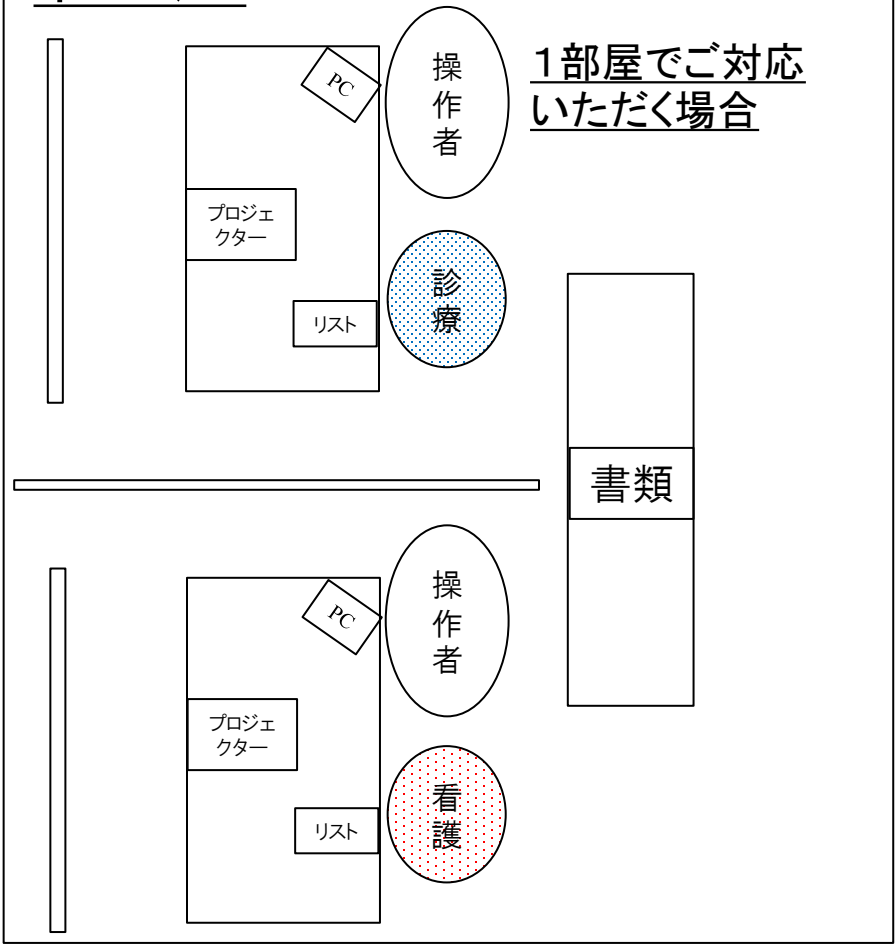
カルテレビューで確認する診療記録

確認内容	確認する診療記録 ※適時・適切に記載されているか
1.入院時の評価と治療・ケア方針の策定	● 入院時初期評価記録 入院の目的、入院時所見（主訴、既往歴、家族歴、現病歴、身体的所見など）の記録 ● 看護のアセスメントの記録 ● 入院診療計画 ● 看護計画
2.説明と同意の実施	● 入院時、手術前後の説明と同意の記録 入院診療計画、手術・麻酔同意書、輸血同意書、術後の説明等 ● 患者・家族の反応の記録
3.退院へ向けた支援	● 退院計画
4.周術期の対応	● 手術記録 ● 手術看護記録
5.多職種によるカンファレンスの実施	● カンファレンス記録（実施の有無と結果）
6.研修医に対する指導	● 研修医の記載に対する指導医の記載 （カウンターサイン、指導記録）
7.退院時要約の作成	● 退院時サマリー ● 看護サマリー
8.他の施設との連携	● 診療情報提供書（紹介時および逆紹介時）と返書

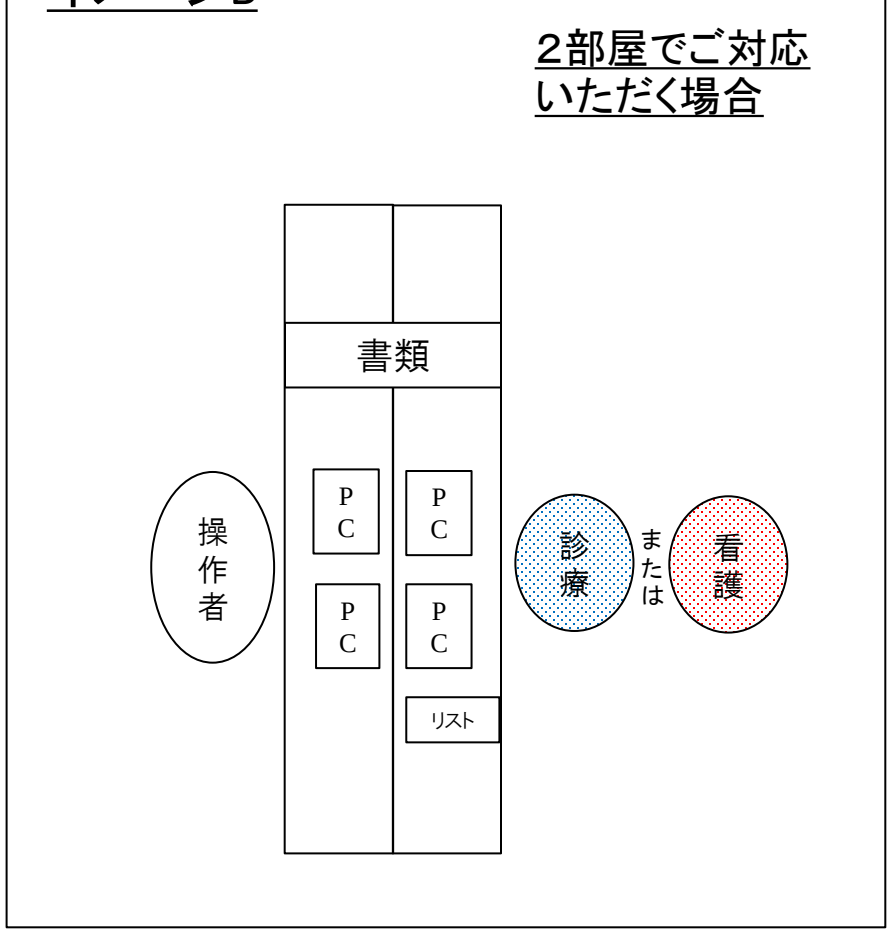
カルテレレビュー 会場レイアウトイメージ

各サーベイヤーが確認症例の全ての記録をスムーズに確認できるよう、ご配慮をお願いします

イメージA



イメージB



カルテレビューの様様



(2) テーマ別調査(事務ブロック)

- **【NEW】 組織ブロック**
- **【NEW】 人材ブロック**
- **【NEW】 経営ブロック**
- **【NEW】 地域・患者支援ブロック**

※詳細は今後変更する場合がございます。

テーマ別調査「組織ブロック」

目的	● 病院理念達成に向けガバナンスの利いた病院運営が計画的・組織的に行われているか、病院を取り巻くリスク対策が適切に行われているかを確認します。
主な確認内容	● 幹部職員の選任の仕組み、会議、委員会の機能、中長期計画・年次事業計画等および部門の目標の策定経緯や達成度評価、病院の危機管理、情報の有効活用等を具体的に確認します。
関係する項目	● 理念・基本方針と組織体制 4.1.1 4.1.2 ● 理念・基本方針と各種計画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.6.1 ● 危機管理 4.6.1 ● 保安 4.6.2 ● 院内で発生する情報の有効活用 4.1.4 ● 文書管理 4.1.5 ● 施設設備の新設・改修・更新 4.5.1

テーマ別調査「組織ブロック」ストーリー案

①理念・基本方針と組織体制

理念・基本方針と組織体制の整備・運営状況
病院幹部職員の選任、責任・権限、評価の仕組み
病院の組織
会議・委員会
決定事項の院内への周知徹底と遵守状況

②理念・基本方針と各種計画

理念・基本方針と各種計画の策定と周知
中長期計画の策定と周知
年次事業計画の策定
部門・部署ごとの目標の設定
各種計画の実行と評価
部門・部署ごとの目標の進捗管理と達成度の評価
年次事業計画の進捗管理と達成度の評価
中長期計画の進捗管理と達成度の評価

③危機管理

病院の危機管理
リスクの把握・評価と対策の策定
病院の機能存続計画
火災・停電発生時の対応
大規模災害時の対応

④保安

規模・機能に応じた体制と実施状況
体制の整備
業務実施状況

⑤院内で発生する情報の有効活用

情報管理・活用の基本方針と有効活用
方針
情報セキュリティ
情報システムの導入
情報の活用
真正性・保存性の確保

⑥文書管理

文書管理の仕組みと運用状況
文書管理規程
管理責任部署と担当者
院内の各種規程・マニュアルの管理、承認の仕組み

⑦施設・設備の新設・改修・更新

施設・設備の新設・改修・更新
課題の把握
日常点検・保守管理計画、緊急時の対応
廃棄物処理と清掃
経年劣化対応

テーマ別調査「人材ブロック」

目的	● 人材確保、育成・能力評価、労務管理の一連の取り組みが組織として適切に行われていることを確認します。			
主な確認内容	● 人材の採用から退職まで、労働時間の把握を含めた就労管理、働きやすい職場への配慮といった人事・労務管理の実際を確認します。職場環境、労働安全衛生、メンタルヘルス、ハラスメント対応。人材育成の視点による職員教育・研修内容等の具体的な活動を確認します。			
関係する項目	● 人材の確保	4.2.1	4.2.2	
	● 教育・研修	4.3.1		
	● 人材育成・能力評価	4.2.2	4.3.2	4.3.3
	● 学生実習等	4.3.4		
	● 労務管理	4.2.2	4.2.4	
	● 安全衛生管理	4.2.3		

テーマ別調査「人材ブロック」 ストーリー案

①人材の確保

人材の確保

採用計画の検討・策定

採用活動の方法・工夫

労働契約

辞令交付

誓約書

②人材育成・能力評価

職員教育・育成

全職員対象の教育・研修

新人教育

中途採用者の教育

委託、派遣、ボランティアの教育

人材育成・能力評価

職種ごとの専門教育

人事評価

教育環境整備

③学生実習等

学生実習等

受け入れ体制

実習前の教育

実習状況

患者・家族との関わり方の取り決め

実習中の事故等への対応

④労務管理

労務管理

就業規則、各種規程

労働時間の把握

魅力ある職場づくり

⑤安全衛生管理

安全衛生管理

労働安全衛生委員会

職場環境

テーマ別調査「経営ブロック」

目的	● 適切な病院経営に向けた受審病院の各取り組みを「予算管理」「収益管理」「支出管理」「経営改善」の4つの視点から確認します。
主な確認内容	● 予算編成の手順と執行、財務諸表の作成と会計監査。保険請求業務、未収金対応、施設基準管理。購入業務全般、委託業務の検討。 ● 経営に関する意思決定のためどのようなデータを作成し検討しているかなど経営に資する取り組みを確認します。
関係する項目	● 予算管理 4.4.1 ● 収益管理 4.4.2 ● 支出管理 4.4.3 4.5.2 ● 経営改善 4.4.1 4.4.2

テーマ別調査「経営ブロック」 ストーリー案

① 予算管理

予算立案

予算作成の時期はいつか

各科等の意見聴取

何処で原案を作成するのか

病院の事業計画の反映

予算執行

進捗管理状況の把握

決算報告

補正予算の仕組みはあるか

意思決定機関の報告確認

会計監査

② 収益管理

窓口会計収入

管理責任者

支払い方法

未収金管理

保険診療収入

レセプト点検

返戻・査定対応

施設基準の管理

③ 支出管理

購入業務

高額医療機器

医療機器備品

医薬品

医療消耗品

委託業務

委託の是非の検討

委託業務の管理

委託業務の質管理

教育・研修

④ 経営改善

データの活用

データ分析

検討の場

会議、委員会

ベンチマーク

テーマ別調査「地域・患者支援ブロック」

目的	● 自院の役割の広報、地域医療機関との連携の仕組みと地域医療機関の支援。来院時、入院時の配慮としての患者支援体制について確認します。 ● 医療相談体制と相談機能、患者・家族の意見の反映について確認します。			
主な確認内容	● 利用者に必要な情報がタイムリーに提供されていることを確認します。自院の機能と役割を明確にした地域連携の実際。多様な相談への対応と入退院に関する患者支援の実際を確認します。			
関係する項目	● 情報提供・連携機能	1.2.1	1.2.2	1.2.3
	● 来院時・入院時の配慮	1.1.5	2.2.1	
	● 相談・苦情対応	1.1.4	1.5.3(旧1.5.1)	
	● 個人情報管理・保護	1.1.5		

テーマ別調査「地域・患者支援ブロック」 ストーリー案

①情報提供・連携機能

医療サービスの広報

地域住民・患者への広報

地域連携・連携の促進

地域連携の仕組み

情報の把握・発信

紹介・逆紹介への対応

地域医療機関への支援

②来院時・入院時の配慮

受診・入院

受付

支援体制

個人情報保護

③相談・苦情対応

医療相談

相談窓口

相談機能・体制

患者・家族の声の反映

収集

対応

④個人情報の管理・保護

個人情報保護

方針

管理体制

物理的・技術的保護

(3) 医療安全ラウンド

前回と変更はございません

医療安全ラウンド

目的

- 病院の医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者および医療機器安全管理責任者に同行いただき、病棟等3ヶ所以上を訪問し、以下の内容を確認します。
 - 訪問先における院内方針に基づく医療安全の取り組み状況
 - 訪問審査1日目に確認した課題の訪問先での状況
 - 訪問審査1日目に確認した各安全管理責任者と現場との医療安全の取り組みにおける連携の状況
- 訪問先※は、訪問審査2日目（ラウンド当日）の朝、病院へ通知します。
※病棟については、原則、ケアプロセス調査の対象病棟以外から指定します。

同席者

- 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、訪問病棟について体制・設備・環境等をご説明いただける方

備考

- 医療安全ラウンドで、ご準備いただく資料はありません。

(参考) 医療安全ラウンドの訪問病棟例

病院	訪問病棟
A大学病院	眼科 病棟
	口腔外科 病棟
	血液内科 病棟
B大学病院	小児内科 病棟
	眼科 病棟（アイセンター）
	脳神経外科・神経内科 病棟
	循環器・腎臓内科 病棟

(4) 面接調査

(医師・歯科医師の教育・研修／
看護部門の教育・研修)

前回と変更はございません

面接調査③（医師・歯科医師の教育・研修）

内容	◆ 人材育成が計画的・効果的に実施されているか、取り組み状況を確認します。 ◆ 能力評価・開発の仕組み、教育・研修の実施体制、実施状況、実習生等の受け入れ状況等を確認します。
同席者	◆ 医師・歯科医師の教育・研修担当者
お願い	◆ 「訪問審査でご準備いただきたい書類一覧」のうち、教育・研修に関する書類をご用意ください。

面接調査④（看護部門の教育・研修）

内容	◆ 看護部門の業務、看護師の教育・研修について、以下の内容を確認します。 ○病院運営における看護部門の役割 ○計画的・効果的な人材育成 ・クリニカルラダー等を用いた能力評価と業務範囲の設定 ・初期教育、継続教育や自己研鑽支援等の能力開発の体制と実施状況 ・人員配置、ジョブローテーション ・学生等の実習の実施状況 ○病棟運営基準、勤務表作成基準、勤務体制、看護体制、看護基準、看護手順の整備と実施状況
同席者	◆ 看護部長、副看護部長、看護師の教育・研修の担当者
お願い	◆ 「訪問審査でご準備いただきたい書類一覧」のうち、以下の資料をご用意ください。 ○看護管理手順 ○看護基準・手順 ○看護師の能力評価・能力開発に関する記録 ○看護師の教育・研修計画と実施記録 ○外部からの研修・実習の受け入れ状況と受け入れ時の取り決め等がわかる資料

(5) 病院幹部面談

前回と変更はございません

病院幹部面談

内容	病院のガバナンスについて、比較的少人数の病院の幹部と面談します。 ◆ 病院のガバナンスについての補足確認 組織構造（役割・権限）、意思決定の仕組み、指示命令系統、情報（死亡症例等）の把握、病院幹部各々の権限、医療の質や安全に関する対応 ◆ サーベイヤーが確認した現場のガバナンスの状況 ◆ 病院が今後進むべき方向等についての意見交換
同席者	◆ 病院長、副院長、院長補佐、看護部長、事務長等
備考	◆ 同席される病院幹部の皆様の座席表を9部ご準備ください。

【NEW】

(6) テーマ別調査(薬剤)

※詳細は今後変更する場合がございます。

テーマ別調査「薬剤」

目的

- 特定機能病院に求められる高度な薬剤管理が適切に行われているかを病院の状況に応じて2～3程度のテーマの調査を通じて確認。

主な確認内容

- 選定したテーマの責任者、担当者、薬剤部長

関係する項目

- 採用医薬品数削減
- ハイリスク薬(KCL、筋弛緩薬等)のトレース
- 処方変更時の対応(システム上の薬歴への反映)
- 疑義照会の状況・処方医へのフィードバック
- 院外薬局との関係(処方鑑査、疑義照会への対応)
- 抗がん剤(特に内服薬)の院外処方における安全確保
- 病棟薬剤師の機能発揮状況 等

目次

1. 第3世代（3rdG）の特徴

2. 3rdG:Ver.3.0への改定の概要

(1) Ver3.0の評価項目数

(2) 新しく導入した評価方法

(3) Ver3.0の評価料

(4) Ver3.0の支援サポートメニュー

3rdG:Ver3.0 評価料のご案内

	審査体制区分	Ver.2.0 評価料（税込）	Ver.3.0 評価料（税込）
本審査 (主たる機能種別) 【新規・更新】	区分1	¥1,320,000	¥1,485,000
	区分2	¥1,650,000	¥1,848,000
	区分3	¥2,420,000	¥2,695,000
	区分4	¥2,750,000	¥3,058,000
	一般病院 3	¥4,950,000	¥5,588,000
本審査 (副機能) 【新規・更新】	主たる機能種別 と同時	¥220,000	¥242,000
	認定期間中 (後日)	¥550,000	¥616,000

※高度・専門機能の評価料は変更ございません。

『病院機能評価 機能種別版評価項目 解説集』 の販売について

3rdG:Ver.3.0への移行に伴い、受審病院の皆様からのご要望にお応え
して、解説集のPDFを配布いたします！

	形態	購入の申し込み	価格
～Ver.2.0	冊子	機構ホームページよりお申し込み	5,500円/冊(税込)
Ver.3.0～ ※販売・配布は 2022年5月 以降を予定	冊子	機構ホームページよりお申し込み	5,500円/冊(税込・予定)
	PDF	本審査受審のお申し込み後 に配布(予定)	無料

目次

1. 第3世代（3rdG）の特徴

2. 3rdG:Ver.3.0への改定の概要

(1) Ver3.0の評価項目数

(2) 新しく導入した評価方法

(3) Ver3.0の評価料

(4) Ver3.0の支援サポートメニュー

受審サポートメニュー（2022年度版）

	名称	主な内容	推奨利用時期（目安）
1	講師派遣	全職員に向けた事務局による病院機能評価の概要説明 ※旧：講演型	本審査の1年6ヶ月～1年前まで
2	サーベイヤー派遣 【1名】【4名】	① 受審準備に向けた課題抽出 ② 審査手法、審査項目の一部を体験し、職員全体に共有 ③ サーベイヤーによる模擬審査支援 ④ 受審直前の不安や課題をフォローアップ	① 本審査の1年6ヶ月～1年前まで ② 本審査の1年6ヶ月～1年前まで ③ 本審査の6ヶ月～3ヶ月前まで ④ 本審査の2ヶ月～1ヶ月まで
3	オンライン窓口相談	・リモートにてサーベイヤーに個別で直接相談 ・対面式も可能	随時
4	病院機能改善支援セミナー 【一般病院3】 【看護】 【ケアプロセス調査】	【一般病院3】 病院機能評価の概要、各領域ポイント 【看護】 ①看護領域のポイント ②認定病院インタビュー 【ケアプロセス調査】 ケアプロセス調査のポイント ①内科病棟の症例の実演と解説 ②外科病棟の症例の実演と解説	【一般病院3】 本審査の1年6ヶ月～1年前 【看護】 本審査の1年前～直前 【ケアプロセス調査】 本審査の6ヶ月前～直前
5	オンライン受審相談会	・リモートにてサーベイヤーに直接相談 ・他病院の相談事例を共有 ※個別でなく、集合型となります。	本審査の申込み後～ 本審査の直前

※詳細は今後変更する場合がございます。

※詳細は「評価事業推進部 支援課」までお問い合わせください。

最新の情報はホームページをご覧ください。

こちらをクリック！



<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/>

公益財団法人 日本医療機能評価機構

病院機能評価事業

ISQuaの国際認定を
取得しました

文字サイズ 中 大

言語を選択

キーワードを入力する

HOME

事業概要

病院機能評価

病院への支援

教育研修

ツール

お問い合わせ

評価
Accreditation

病院機能評価について
知りたい方

支援
Support

受審や質改善のサポートについて
知りたい方

教育
Education

教育研修について
知りたい方

認定病院検索

イベントカレンダー

受審申し込み
はこちらから

受審のお申し込み

評 価

病院機能評価の受審のお申し込み
と留意点をご紹介します。

病院機能評価に関する情報一覧

病院機能評価に関する情報一覧を
紹介します。

評 価

患者満足度・
職員やりがい度
活用支援

患者満足度・職員やりがい度

支援

医療の質を評価する指標の満足度
を継続的に測り、改善するための
支援プログラムを行います。

医療安全文化調査
活用支援

医療安全文化調査

支援

医療安全文化調査 活用支援につ
いて紹介します。

問い合わせ先

- ・ 不明点がある場合は、下記までお問い合わせください。

評価事業推進部 支援課 (03-5217-2326)

＜サポート内容＞

- ・ 3rdG:Ver3.0の概要説明(訪問、オンライン)
- ・ 受審時期相談、受審スケジュール作成
- ・ 受審サポートメニューのご案内 など

各地域担当がみなさまをサポートいたします！！



些細な内容でも構いません。お気軽にお問い合わせください！